

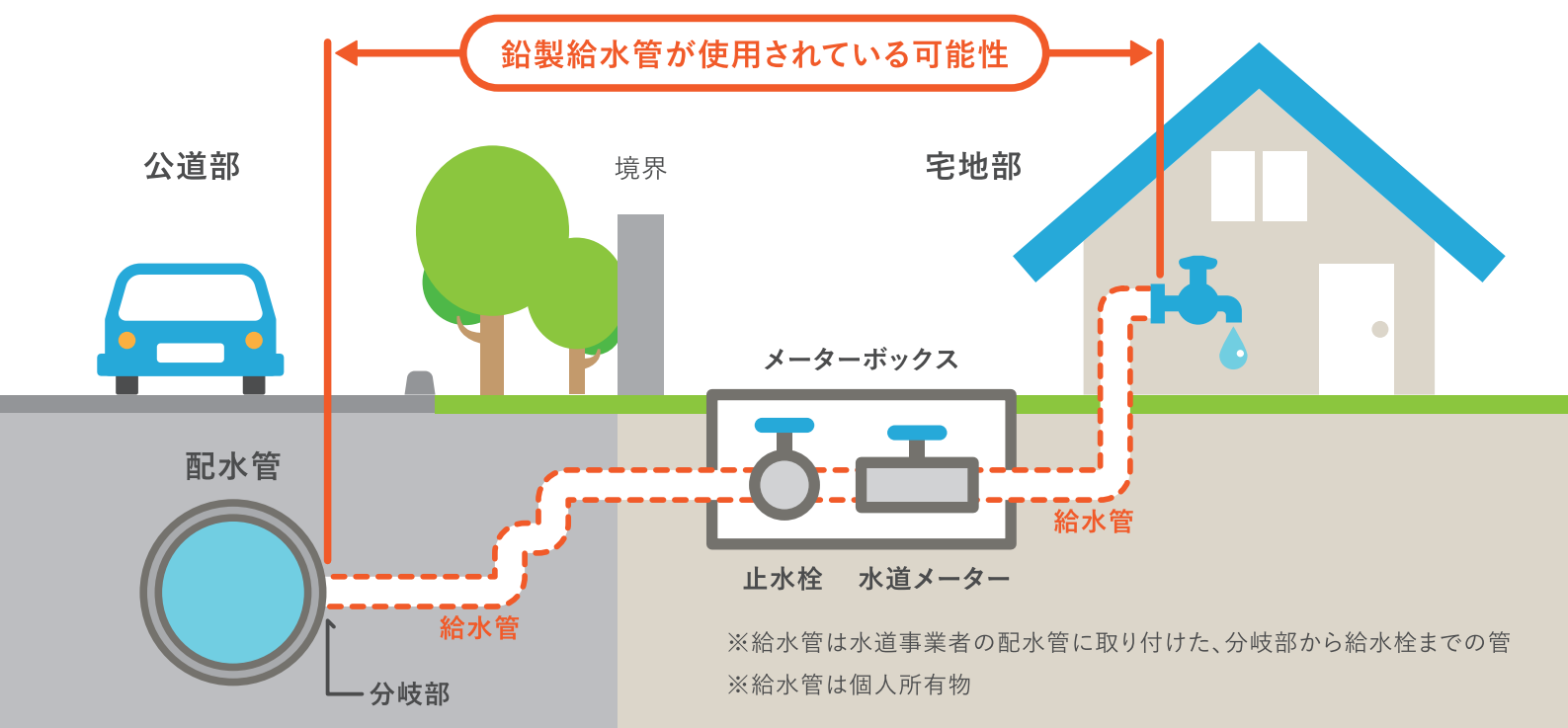


ど自宅の給水管が鉛製 ではないですか??

鉛製給水管中に水道水が長時間滞留した場合、鉛管からの溶出により、**水道水の鉛濃度が水質基準を超過**するおそれがあります！

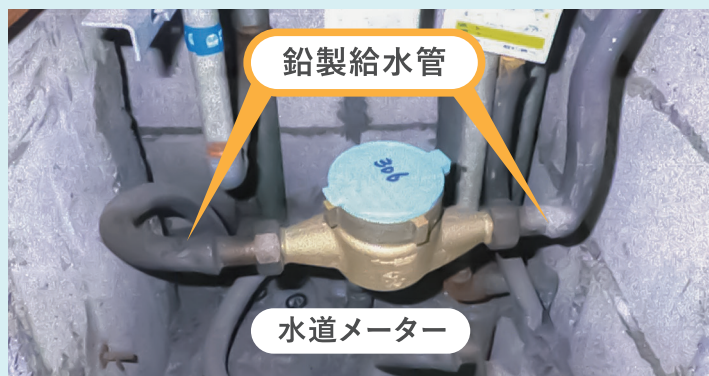
特に、**平成元年度以前に建築された住宅**にお住まいの方は、ご自宅に鉛製給水管が使用されているかを確認してください！

※鉛には蓄積性があり、その摂取量が多い場合、人の健康に対する影響が懸念されます。

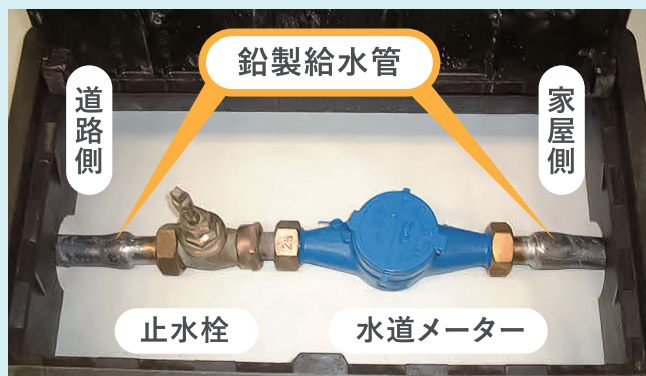


鉛製給水管の設置状況

①集合住宅等のパイプスペース内



②一般家屋等のメーターボックス内



鉛製給水管が使用されているかの確認方法

1. 所有者が自ら確認する場合

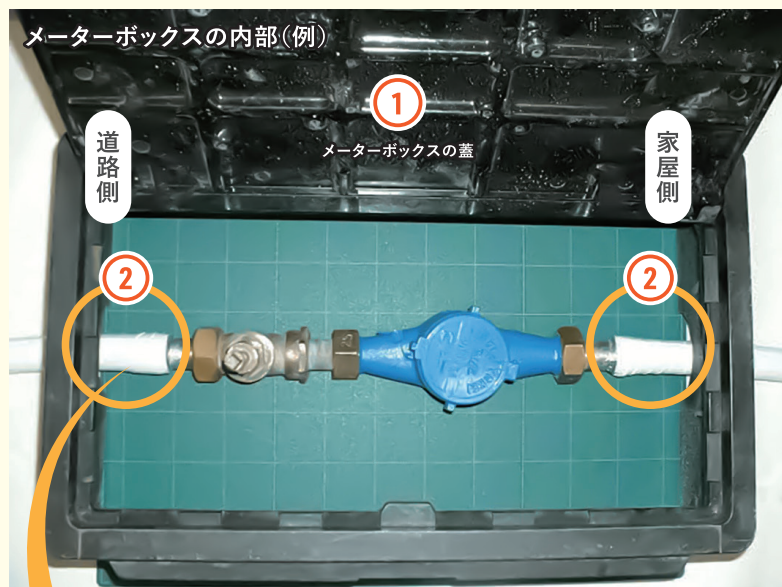
所有者による確認方法は、下記のとおりですので、ご確認ください。

2. 所有者が水道事業者(水道局等)に確認する場合

給水を受けている水道事業者(水道局等)のホームページ等を確認いただき、お問い合わせください。

※鉛製給水管を使用している場合、水道事業者(水道局等)より、鉛製給水管に関する広報物が届けられていることがあります。

所有者による確認方法



メーターボックスの内部(例)

①
メーターボックスの蓋

道路側

家屋側

鉛製給水管の接合部(例)

鉛管

錆びた鉛管

はんだ溶接



鉛管ではない事例(HIVP管)

HIVP:塩化ビニルのうち硬質な素材

確認事項

- ・色(黒)
- ・材質(プラスチック)



鉛管ではない事例(塩ビ管)

確認事項

- ・色(グレー)
- ・材質(プラスチック)

- ① メーターボックスの蓋を開け、内部の給水管を確認します。
- ② 見えた管が鈍い灰色ならば鉛製給水管の可能性がありますが、黒く錆びている場合は、表面を少し削って確認してください。
なお、鉛管ははんだ溶接されています。
※給水管に防食防止のテープ等が巻いてある場合は、一部を剥がしてください。



塩化ビニール管も灰色など、類似した色をしています。材質がプラスチック製と判断できる場合は鉛管ではありません。

鉛製給水管が使用されている場合どうすればいいの？

▶所有者による鉛製給水管の布設替えをご検討ください。

※水道事業者(水道局)が助成制度を設けていることもあります。

※賃貸等、所有者ではない場合は管理会社等に布設替え等の対応をお願いしてください。

▶朝一番やお出掛けで長時間水道水を使用しなかった場合、水質基準を超える鉛成分が検出されることがありますので、安心してお使いいただくために使い始めの水(バケツ1杯程度)を飲用以外の用途で使用してください。

※通常の使用では水道法に定められた水質基準に適合しており、直ちに健康を及ぼすことはありません。